

# 第3期裾野市スポーツ推進計画



## 見直しの趣旨

裾野市では、これまでの第1期では「する・観る・支える」の視点からスポーツを進め、第2期では「市民がスポーツに親しむ環境づくり」と「交流人口の拡大」を目標に、生涯スポーツや施設整備、スポーツツーリズムに取り組んできました。

しかし、社会の変化や市民ニーズの変化、国や県の計画の改定、さらに市の総合計画や教育振興基本計画見直しに伴う改訂が必要になりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響によりライフスタイルや健康意識も変化し、スポーツのあり方を見直す必要が出てきました。

そのため第3期計画では、第2期の取り組みを引き継ぎつつ、裾野市の特徴を活かして、すべての市民がスポーツを通じて健康で豊かに暮らせる社会をつくることを目指して、計画の見直しと再構築を行いました。

## 計画の位置づけ

本計画はスポーツ基本法第10条に基づく「地方スポーツ推進計画」に位置づけられ、国の第3期スポーツ基本計画、静岡県スポーツ推進計画、第5次裾野市総合計画、第3期裾野市教育振興基本計画と整合を図っています。

## 計画の期間

令和8年度～令和12年度の5年間。社会情勢の変化に応じて必要に応じて見直しを行います。

め

ざ

す

姿

令和8年3月策定の「第3期裾野市教育振興基本計画」でうたわれる基本理念「共に学び、つながり合い、多様な個性を活かしながら、未来を拓く人づくり」を実現するため、市民ひとりひとりがスポーツに親しむことができる環境づくりを目指します。

さらに、地域指導者の育成やスポーツツーリズムを促進し、多様性に満ちた市民スポーツの振興、スポーツを通じて裾野市を訪れる人たちとの交流拡大を図ります。

## 今後5年間で取り組む4つの柱（課題項目）

### ◆ I 生涯スポーツの推進

年齢性別や障がいの有無、支援の程度にかかわらず、だれもがスポーツを楽しむことができるよう、スポーツ教室の開催等を通じ、市民のスポーツ参加意欲の高揚を図り、市民の自発的なスポーツ活動の育成や関係諸団体への支援を行います。

### ◆ II スポーツ関連施設等の基盤整備・充実

市民が安全で快適にスポーツを楽しめる屋外スポーツ基盤の整備や老朽化の進む既存スポーツ施設の計画的な整備・改修・長寿命化を実施し、施設利用者の安全を確保します。また、各スポーツ施設の利用実態を分析し、施設数の最適化を図るとともに、指定管理者制度により民間のノウハウを活かし、施設の利便性向上を図ります。

### ◆ III スポーツ団体の育成と部活動の地域展開

部活動の地域展開の実現や市民スポーツの振興を図るため、JSPO 公認スポーツ指導者資格の取得や、「スタートコーチ（ジュニア・ユース）」および「ジュニアリーダースクール」の受講を支援します。これらの取組を通じて、市民スポーツや部活動における指導者の育成を進めるとともに、スポーツ指導者バンクへの登録者数の増加を目指します。また、地域スポーツ団体・スポーツ少年団を活用し、スポーツ団体の育成や、地域指導者の育成・確保を目指します。

### ◆ IV スポーツツーリズムの推進

これまでに築かれた裾野市スポーツツーリズム推進協議会（S-SPO）内外の連携体制や諸チームとの関係性を活かし、事業継続します。

合宿受入れ時期の平準化及び閑散期の誘客対策を重点課題として取り組むことで、年間を通じた受入れの拡大を目指します。また、東京2020オリンピック自転車競技ロードレースのしがシーを継承し活用することで、交流人口の拡大を目指します。

## 施策の展開

### ◆ I 生涯スポーツの推進

- 運動習慣の定着と拡大  
市民大会や体験会を通じて運動習慣の定着など
- 子どもたちの体力向上  
スポーツ少年団等の支援など
- 世代や障がいの程度に応じたスポーツ機会の創出、充実  
障がいの有無、年齢、性別、文化的背景に関係なく、だれもが参加できるインクルーシブスポーツの推進など
- 地域スポーツ環境の整備  
市民が主体的に行うスポーツ活動の創出の支援など

### ◆ II スポーツ関連施設等の基盤整備・充実

- 市内公共スポーツ施設の整備  
インクルーシブな施設整備など
- 学校体育施設開放事業の充実  
既存の施設を有効活用し、広く市民にスポーツに親しむ機会の提供
- 屋外スポーツ基盤の整備  
市民が安全で快適にスポーツを楽しめる屋外の基盤整備

### ◆ III スポーツ団体の育成と部活動の地域展開

- 地域指導者の育成・確保  
地域スポーツ団体・スポーツ少年団を活用した指導者の育成・確保
- 地域スポーツ団体の育成  
NPO 法人裾野市スポーツ協会やNPO 法人アクティブすそのの活動についての支援
- 部活動の地域展開の円滑な移行及び運営の安定化  
地域展開を円滑進め、展開後の地域クラブが安定的に運営される体制づくりの推進など

### ◆ IV スポーツツーリズムの推進

- スポーツ合宿の誘致やスポーツイベントの開催  
富士山麓の準高地エリアを活用したスポーツ合宿や大会の誘致など
- 東京2020オリンピック自転車競技ロードレースレガシーの継承  
有形／無形のオリンピック・レガシーの後世への継承

# 計画目標

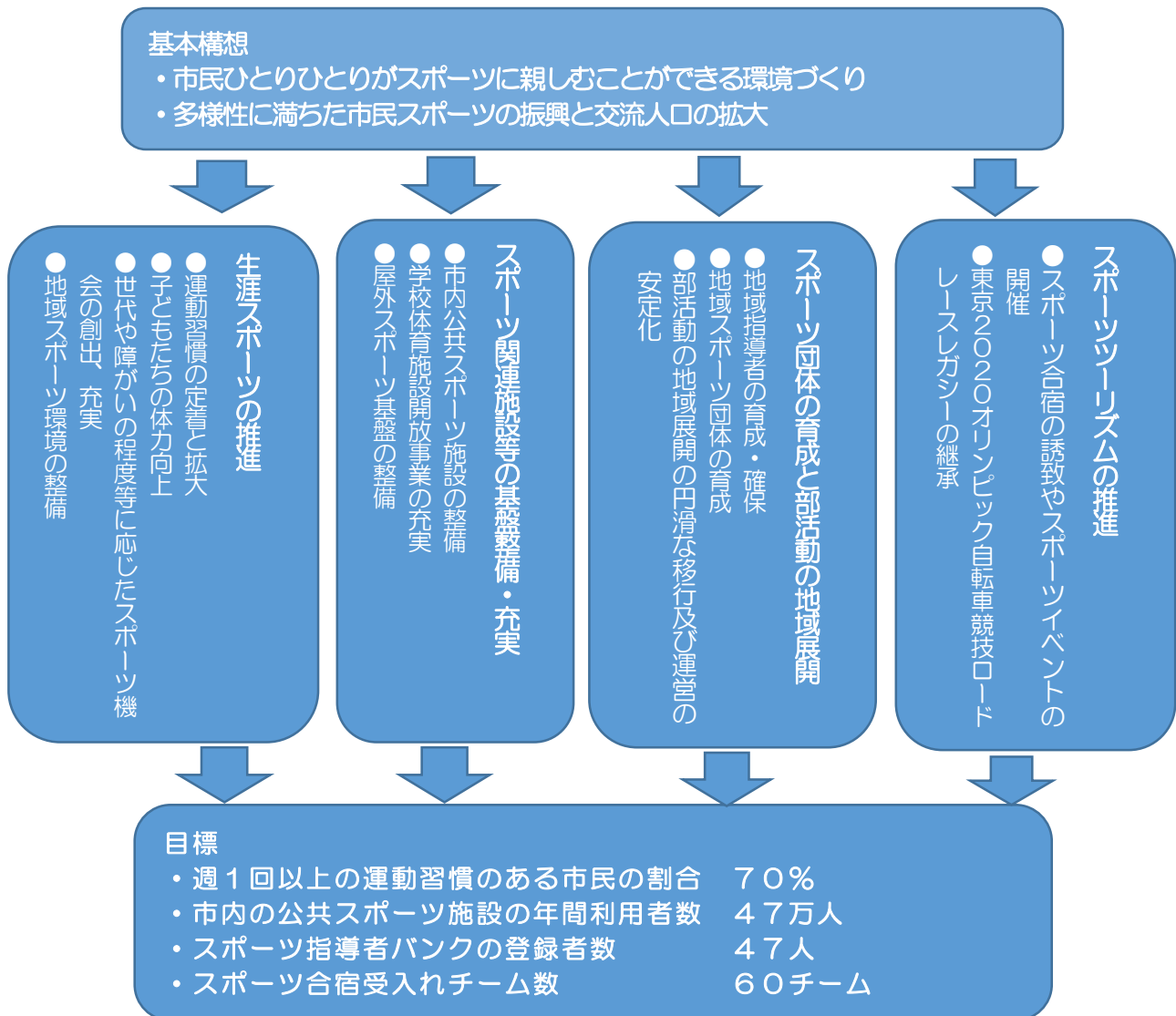
令和12年度までに以下目標の達成を目指します。

計画の推進にあたっては、積極的な情報発信を行うとともに、行政、市民、スポーツ団体、企業、学校などが連携・協働し、効果的なスポーツ環境の整備を進めます。

また、スポーツ推進審議会による進捗状況の点検・評価を行い、その結果を今後の施策に反映します。

指 標	現 状 (令和6年度)	令和12年度
週1回以上運動する市民割合	56.5%	70%
公共スポーツ施設年間利用者数	402,634人	470,000人
スポーツ指導者バンク登録者数	4人	47人
スポーツ合宿受入チーム数	40チーム	60チーム

## 第3期裾野市スポーツ推進計画目標フロー図



令和8年3月

裾野市教育委員会生涯学習課

TEL: 055-992-6900 FAX: 055-992-4047